CASIO

P

3229/3421＊JA

取扱説明書

3229/3421

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
※ 本書に記載の製品イラストの中には、視認性を考慮して、実際のものとは異なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

⃠記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠ 警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。
- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード

製品によっては、Ⓐ ボタンは他のボタンより低くなっています。

曜日　月　日
Ⓐ ボタン
（自動点滅 ON ／ OFF 切替え）Ⓑ ボタン
午後マーク（午前は消灯）
自動点滅 ON マーク
Ⓒ ボタン（モード切替え）
Ⓓ ボタン（ライト点灯）
時　分　秒

★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

★ライトの自動点滅 ON ／ OFF 切替え
時刻モードのとき、Ⓑ ボタンを約 2 秒間押すごとに確認音が鳴り、自動点滅 ON（✧マーク点灯）／ OFF が切り替わります。
※ 右記の「●ライトの自動点滅について」参照。

（※各機能を使用した後に Ⓒ ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。）

Ⓒ

アラームモード

任意の日付・時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時（00 分）に時報を鳴らすことができます。

Ⓒ

タイマーモード

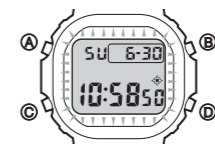
1 秒単位で最大 24 時間までの減算計測ができます。

Ⓒ

ストップウオッチモード

1/100 秒単位（1 時間を超えると 1 秒単位）で 23 時間 59 分 59 秒(24 時間計)まで計測できます。

■ ライトについて

どのモードでも、Ⓓ ボタンを押すとライトが約 2 秒間点灯します。
➡暗いところでも表示を見ることができます。
※ ライトの自動点滅が OFF（✧マーク消灯）でも Ⓓ ボタンを押すと、ライトが約 2 秒間点灯します。

● ライトの自動点滅について

自動点滅が ON（✧マーク点灯）のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的にライトが点滅します。
※ 電子音報音（自動点滅）のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

ご注意
- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。
- 電子音の報音と自動点滅のタイミングが若干ずれることがありますが故障ではありません。

時刻・日付の合わせ方

以下の操作は、時刻モードで行います。

電池交換後などで時刻・日付が合っていないときは、以下の方法でセットしてください。なお、月に 1 度くらい「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを押します

➡「秒」が点滅します。

2. 秒合わせをする

時報に合わせて Ⓑ ボタンを押します

➡「00 秒」からスタートします。
※ 00 ～ 29 秒のときは切り捨てられ、30 ～ 59 秒のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。

3. 時刻・日付を合わせる

a. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

b. 点滅箇所をセットする

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。

★ 12/24 時間制表示切替え
セット中（表示点滅）のとき、Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示（午前／午後“PM”）と 24 時間制表示“24H”とが切り替わります。

Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓑ ボタンでセットする操作を繰り返して、時刻・日付を合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後“PM”、または 24 時間制“24H”にご注意ください。
※「年」は 2000 ～ 2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年、大の月および小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま 2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まります。

Printed in China　MA1405-B

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは月・日・時・分を設定でき、設定した時刻になると 20 秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき、

Ⓐ ボタンを押します

➡「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。

2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所をセットする

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。

※「月」をセットしない時は“－”を､「日」をセットしないときは“－－”を表示させます。

※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

- **毎日**鳴らす ➡「時・分」のみセット
- **指定月に毎日**鳴らす ➡「月・時・分」のみセット
- **毎月同じ日**に鳴らす ➡「日・時・分」のみセット
- **指定月日**に鳴らす ➡「月・日・時・分」全てセット

Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓑ ボタンでセットする操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後“PM”、または 24 時間制“24H”にご注意ください。

※ 現在時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報の ON ／ OFF 設定

アラームモードのとき、

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。

※ それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。

■ アラーム・時報の報知方法

★アラーム ON のとき

セットした時刻になると、20 秒間電子音が鳴ります。

★時報 ON のとき

毎正時（00 分）になると、“ピッピッ”と電子音が鳴ります。

ライトの自動点滅を ON（✥マーク点灯）にしておくと、アラーム・時報の報音に合わせてライトが点滅します。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

※ ライトの自動点滅が ON（✥マーク点灯）のときは、ライト点滅も止まります。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは 1 秒単位で最大 24 時間までの減算計測ができます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10 秒間電子音が鳴ります。タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー計測方法について

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

- **リピートタイマー（繰り返し計測）**
  タイムアップすると、タイマー時間を表示して計測が止まります。
- **オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）**
  タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行います。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

Ⓐ ボタンを押します

➡「時」が点滅します。

2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所をセットする

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。

Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓑ ボタンでセットする操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。

※ 1 秒単位で 24 時間までセットできます。

※ タイマー時間を 24 時間に設定するときは､表示を「0:00'00」にします。

4. タイマー方法を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡表示が点滅しているとき、Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマーが切り替わります。

※ オートリピートタイマーを選ぶと、オートマーク“**AUTO**”が点灯します。

5. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※ 計測は 1 秒単位で行います。

- Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
- Ⓑ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓑ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

※ オートリピートタイマーで、タイマー時間が 10 秒以下のとき、電子音が鳴るのは 1 秒間となります。

ライトの自動点滅を ON（✥マーク点灯）にしておくと、タイムアップの報音に合わせてライトが点滅します。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

※ ライトの自動点滅が ON（✥マーク点灯）のときは、ライト点滅も止まります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位（1 時間を超えると 1 秒単位）で 23 時間 59 分 59 秒（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※ 計測値が 1 時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1 秒単位で計測を行います。

- 計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（スプリットマーク“**SPLIT**”点灯）。
- 計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

● 通常計測

積算計測…ストップ後リセットせずに Ⓑ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム（途中経過時間）の計測

● 1・2 着同時計測

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。なお、本書に記載しているイラストは､視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、本書に記載しているイラストの黒い部分（｢時刻｣、｢機能が ON になっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、｢白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

- 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1 つの製品でタイプを切り替えることはできません。

製品仕様

精度	平均月差± 15 秒
基本機能	時・分・秒 午前／午後 (PM) ／ 24 時間制 (24H) 表示、 月・日・曜日 フルオートカレンダー（2000 ～ 2099 年）
アラーム機能	時刻アラーム　セット単位＝月・日・時・分 電子音＝ 20 秒間 時報　毎正時に 2 回電子音で報知
タイマー機能	セット単位＝ 1 秒 計測単位＝ 1 秒 計測範囲＝ 24 時間 タイムアップを 10 秒間の電子音で報知
ストップウオッチ機能	計測単位＝ 1/100 秒（00'00"00 ～ 59'59"99 のとき） 1 秒（1:00'00" ～ 23:59'59" のとき） 計測範囲＝ 23 時間 59 分 59 秒（24 時間計） 計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2 着同時計測
その他	自動復帰機能、12/24 時間制表示切替え、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、ライトの自動点滅機能
使用電池	CR2016　1 個（電池別途販売）
電池寿命	約 2 年 （1 日あたりライトを 3.5 秒間、電子音を 20 秒間使用した場合）

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
  防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
  - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
  - 入浴のときに使用すること
  - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
  - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
  なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- ＋ 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
  ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や､激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
  ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。 汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また､樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は､ご使用をやめて､修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）